

事業番号	0	1	8
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	し尿収集助成事業				担当部	市民生活部					
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降				担当課	ごみ政策課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	05	展開方向	4							
予算区分	一般会計	款	04 衛生費	項	02	目	03	大	05	中	01

2. 実施状況

<平成30年度の実施状況>

①市内のし尿汲み取りの実施
 ○廃棄物処理法上、し尿の処理責任は市町村にあり、汲み取りについては直営、委託、許可制はある中で、本市は許可業者3社(内1社は仮設のみ)で実施している。
 汲み取り量は、下水道の普及等に伴い年々減少しており、許可業者の自助努力だけでは業の継続が困難な状況に陥っていることから、「廃棄物処理法」及び下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業者等の合理化に関する特別措置法(合特法)の趣旨に基づき、許可業者の業の安定を確保し、もってし尿の適正処理を図るために、市民の汲み取り料金とも調和を図りながら、許可業者に対して汲み取り量に応じた補助を実施している。 ※18ℓにつき70円を補助。利用者(市民)は150円/18ℓを許可業者へ直接支払う。

②災害時し尿汲み取り補助金
 ○小牧市災害時し尿くみ取補助金交付要綱に基づき、災害により被災した者に対し衛生環境の保全及び費用負担の軽減を図るため、市民負担分のし尿汲み取り料金の半額(75円/18ℓ)を補助する。
 平成27~平成30年度収集量0ℓ、補助額0円

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	一般財源	千円	10,134	9,032	11,438	9,316	
		国・県支出金	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		計(A)	千円	10,134	9,032	11,438	9,316	
	対前年比	%	-	89.1%	126.6%	81.4%		
	(当初)予算額	千円	12,709	11,309	14,909	13,809	13,409	
人件費	正職員	人	0.02	0.02	0.01	0.01		
	正職員(平均人件費)	千円	150	150	75	75		
	その他職員	人	0	0	0.05	0.05		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	79	79		
	計(B)	千円	150	150	154	154		
事業費合計(C=A+B)		千円	10,284	9,182	11,592	9,470		
指標	成果指標	目標						
		実績						
		目標						
		実績						
	活動指標	し尿汲み取り手数料補助金(補助単価H27-H29.4は50円、H29.5~70円/18ℓ)※目標値(補助金予算額)	千円	12,500	11,100	14,700	13,600	-
		し尿汲み取り許可業者3社の安定的経営(収集量実績)	千ℓ	4,500	4,500	3,800	3,500	-
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	大いに改善すべき	○
	<p>廃棄物処理法上では、一般廃棄物の処理について、委託で行う場合、許可制で行う場合を問わず、市町村が統括的な責任者として、経済性の確保よりも一般廃棄物の適正な処理の継続的かつ安定的な実施の確保を図る必要があるとされている。</p> <p>公共下水道の整備、浄化槽の普及により、し尿汲み取り量は年々減少しており、平成10年度の汲み取り量に対して平成30年度は24.15%にまで減少している。</p> <p>し尿の収集量は、今後とも減少するものと思われるが、当面は1日につき2車以上の体制は確保しなければならないことから、許可業者の業務の安定的継続を図るために、今後は買い替えが必要となったし尿収集車の購入費補助も含めて、財政支援を継続していくものとする。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○令和2年度はし尿汲取り補助金の増額を行う。</p> <p>○令和2年度に許可業者3社で結成している協会に対して、し尿収集車購入費の補助を実施する。</p>				